



せな ごうぐら ぼんや

瀬名の郷倉と番屋



写真と絵とお話でつづる

郷倉の誕生から現在
そして

新たな旅立ちの物語





見学の皆さん こんにちは！

お話の中では、現代から江戸時代まで
時空を越えた旅をします。

そんなことが出来るのは・・・





この人
だけ！



お話の案内役を竜爪山の天狗さんにお願ひしました。

ながーい鼻、太い眉、見た目は怖いけれど、心は優しいんです。

それでは 天狗さん
よろしくお願ひしまーす！



① 竜爪山の天狗登場



皆さん！
ようお越しくだされ
た。

① 竜爪山の天狗登場



皆さん！
ようお越しくだされ
た。

わしが天狗で、頭の上にいるのは竜爪山の名前の由来となった竜。

「見た目は怖い」じゃと！
大きなお世話じゃ！！

瀬名郷倉物語

①竜爪山の天狗登場

わしは住み慣れた竜爪山から「瀬名の郷倉」に引っ越したんじゃ。


みんなは「郷倉」のことは知っておるかな？

知らない？

それなら教えてあげよう。



瀬名郷倉物語



わしを呼ぶのは
誰じゃ？

私たちにも郷倉の話を
聞きかせて！

僕たちも江戸
時代に連れて
行って！

天狗の
おじさん！

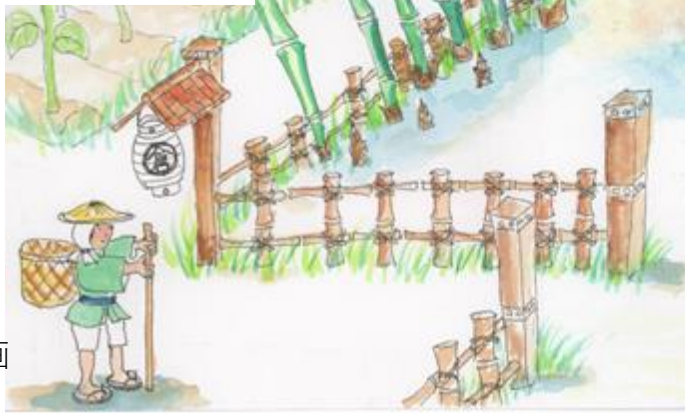
天狗の
おじさん！

江戸時代の
瀬名村に

よしわかった！
ここから2人の小学生も
一緒じゃ



③瀬名村にも 「郷倉」が、できた。



着いたぞ！
ここが、江戸時代の
瀬名村じゃ。

郷倉と番屋が建っ
て、村人は喜んで
おるぞ。
しかし、最初の郷
倉はいつできたの
か不明なんじゃ。

③瀬名村にも 「郷倉」が、できた。



次は
万延元年に

ワープ！

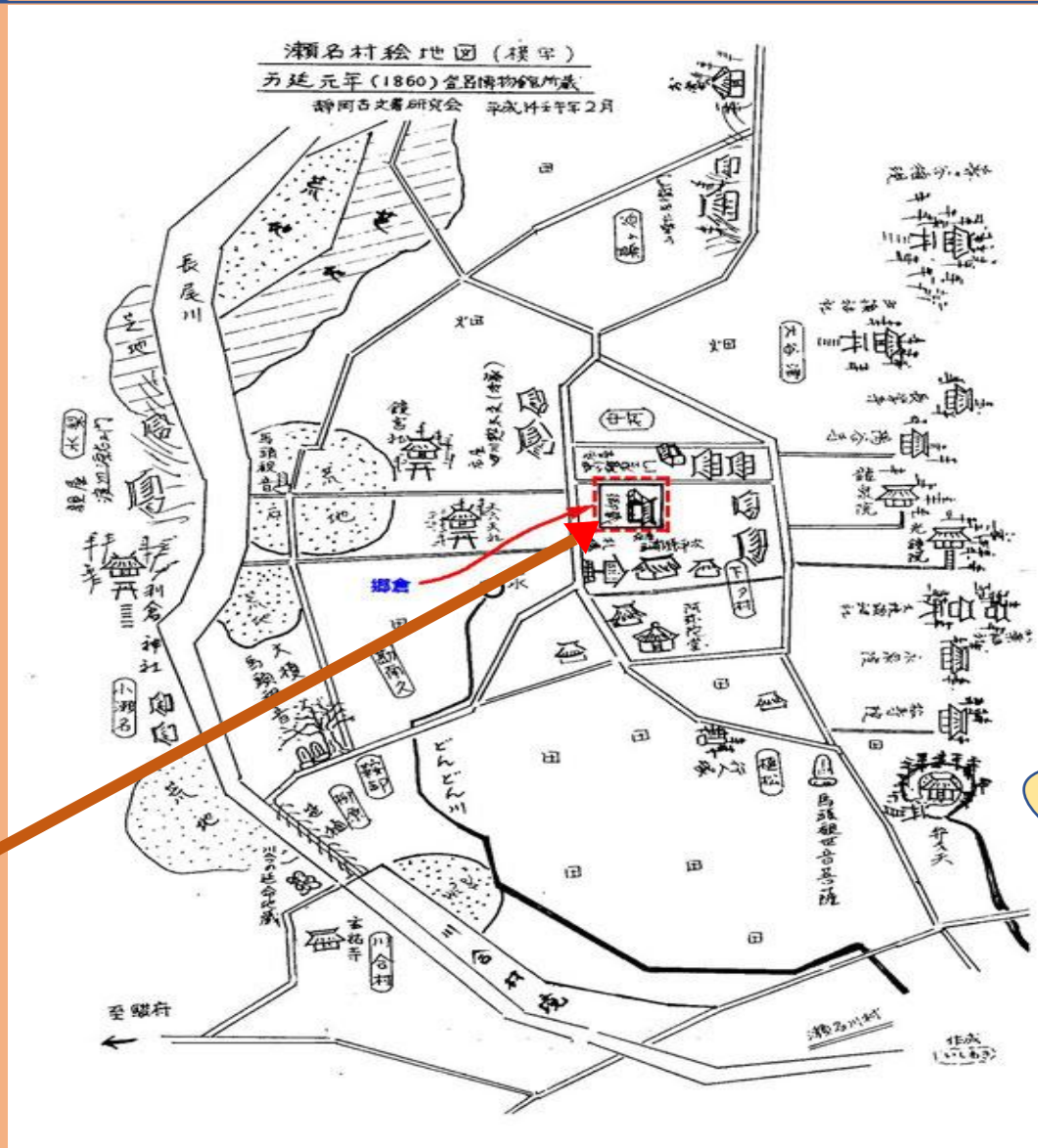
天保4年（1833年）
に建てかえられ、昭和
15年（1940年）この地
に移転して、今の姿に
なった。
昭和47年（1972年）に
静岡市文化財に指定さ
れて保存された。

これが、郷倉の歴史
じゃ

ワープ中ですが
ちよつとこちらを
ご覧ください。

「万延元年の瀬名を
表した地図」です。
田んぼの真ん中、
ちょうどこのあたりに
郷倉があります。

では、引き続き
ワープをどうぞ！



ワープじゃ！



④瀬名は豊かな里



瀬名村は長尾川が運んできた栄養豊かな土と、竜爪山から流れ出るきれいな水のおかげで、米がたくさん穫れたんじゃ。

「瀬名、千石、米どころ」という言葉を知っておるかな？

「瀬名は千石ものお米が穫れる豊かな土地」ということじゃ。

千石とは穫れた米の量のことので約150t、約2500俵になる。
検地では、**1337石、200t、3345俵、**のお米が穫れるとされたん
じゃ。



④瀬名は豊かな里



瀬名村は長尾川が運んできた栄養豊かな土と、竜爪山から流れ出るきれいな水のおかげで、米がたくさん穫れたんじゃ。

「瀬名、千石、米どころ」という言葉を知っておるかな？

「瀬名は千石ものお米が穫れる豊かな土地」ということじゃ。

千石とは穫れた米の量のことので約150t、約2500俵になる。
検地では、**1337石、200t、3345俵**、のお米が穫れるとされたんじゃ。



瀬名村の郷倉にはたくさんのお米が入っていたんだらうね。

郷倉の中を見たいな。



目指すは郷倉の中！

グ
じゃ！

ー
プ



④瀬名は豊かな里

瀬名村は長尾川が運んできた栄養豊かな土と、竜爪山から流れ出るきれいな水のおかげで、米がたくさん穫れたんじゃ。

「瀬名、千石、米どころ」という言葉を知っておるかな？

「瀬名は千石ものお米が穫れる豊かな土地」ということじゃ。

千石とは穫れた米の量のことので約150t、約2500俵になる。
検地では、1337石、200t、3345俵、のお米が穫れるとされたん
じゃ。



瀬名村の郷倉にはた
くさんのお米が入っ
ていたんだろうね。

郷倉の中を
見たいな。



目指すは
郷倉の中！

グ
ー
じゃ！



ここが郷倉の中じゃ。

村の石高からすると、2000俵を年貢として納めたようじゃが、郷倉の中にどのくらいあるかはわからん。

大切な年貢米が火事で焼けたり盗まれたのでは大変じゃ。そこで、番屋や火の見櫓を建て、蔵番（くらばん）が寝泊まりをして守っていたんじゃ。

わしも天狗の葉団扇（はうちわ）でネズミから米を守っておるぞ！

⑤郷倉の中の様子は？

わーっ
たくさんある！

ビューッ！
バシッ！



⑤ 郷倉の中の 様子は？



郷倉は重要な
役目をしてきたんだ
ね。

江戸時代が終わると
郷倉はどうなっちゃ
うのかな？

答えは現代の
郷倉にある。

ク
ー
ン
じ
ゃ
ー
!





今の郷倉には
年貢米は全く
ありません。

現代の郷倉は昔の道具で
いっぱい！



ワープ終了
現代へ戻ってきたぞ！
今と昔の郷倉のちがいを
考えるんじゃ。





昔の農機具や生活用品を展示している博物館になった。

昔を知ることができる場所になった！



郷倉は、どう変わったんじゃろうな？





天狗のお面がある。
あっ！おじさんだ！
みつけた。

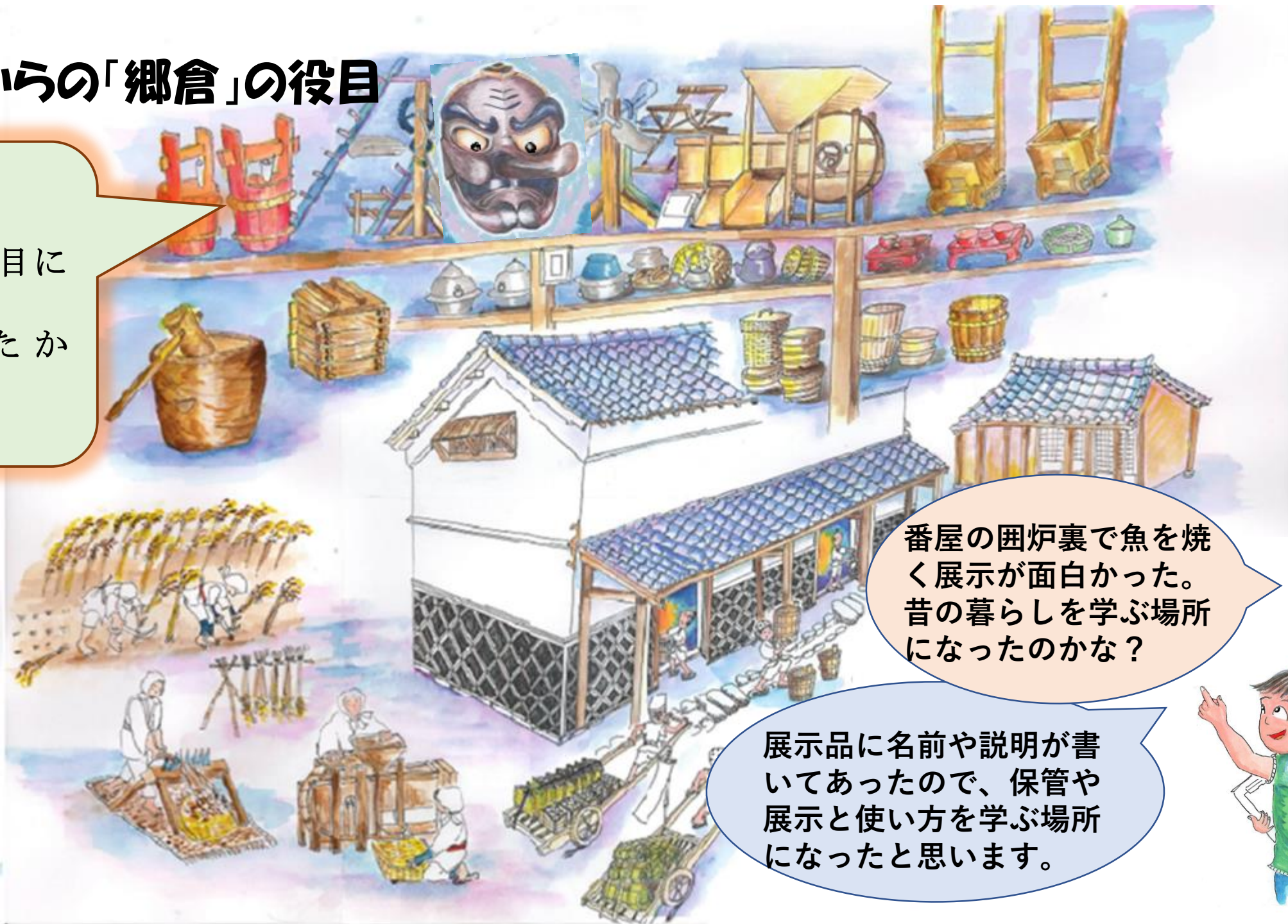
なんで
ここにいるの？



わしも展示されて
おるんじゃ！

⑥これからの「郷倉」の役目

郷倉の新しい役目について、分かったかな？




番屋の囲炉裏で魚を焼く展示が面白かった。昔の暮らしを学ぶ場所になったのかな？


展示品に名前や説明が書いてあったので、保管や展示と使い方を学ぶ場所になったと思います。




⑥これからの「郷倉」の役目 (まとめ)



では、まとめるとしよう。
明治時代になると税はお金で納めるようになった。
「**地租改正**」というんじや。
そのため、郷倉の役目は終わり、多くは取り壊された。
しかし、瀬名の郷倉は壊されなかった。
なぜか！・・・郷倉の中はどうなっていたかな？



農具、生活で使っていた道具が
展示してあり、昔の生活の様子分かる
ようになっていました。



展示品の名前や使い方の説明が
書いてあり、昔の人の働く様子が
想像しやすい展示でした。



⑥これからの「郷倉」の役目 (まとめ)

2人とも良いことに気づいたな

「年貢米を保管する」役目は
終了したが「昔の様子や文化を
未来に伝える」という新しい
役目が与えられた。



郷倉は、未来へつなぐ場所に
なったんじや。



話はこれで終わりじや。
わしは、ずっとここ
におるから、たまには
遊びにくるんだぞ！



「郷倉」のお話は
どうじゃったかな。
これでおしまい!



天狗さん
ありがとう!



さらぼじゃ!

バーン
バーン

お話を聞いてくれた皆さん
そして一緒に歴史を旅した子どもたち
ありがとうございました!
また遊びに来てね!



おしまい

絵と文：松永広雄

